区 区民と区が協働で「すみだ」をつくる

〝人と地域と環境にやさしいまち〟をめざす「すみだ やさしいまち宣言」。10年目を迎えた平成22年には、時代に即した取組を行うため、それまでの「区民の行動指針」を「私たちの行動指針」に改めました。

元「墨田区生活学校連絡会」の会長
中島マサさん

「口で言うより、まず行動」を心掛けてきました

昭和40年代から平成25年まで、墨田区生活学校の活動として「安全で明るく住みよいまちづくり」のため、健康づくりや子育て支援など様々な活動に取り組んできました。

特に、〝環境にやさしいまち〟の実現のため、「すみだで集め、すみだで使う」を合い言葉に、回収した古紙からトイレットペーパー〝すみだっ子〟を作ったり、家庭廃食油から洗濯用石けんを作ったりして区内で販売する「区内循環型リサイクル」に力を入れて取り組みました。こうした活動が評価され、「ふるさとづくり賞 内閣総理大臣賞」をいただけたことは、本当にうれしく思います。

これまで、「口で言うより、まず行動」を心掛けて活動してきました。これからも地域の発展に向けた活動を続けていきたいと思っています。

〝顔の見えるつながり〟を大切にしていきたいですね

「向島母の会」の会長
大川和子さん

〝地域にやさしいまち〟の実現のため、「向島母の会」では向島警察署と協力し、防犯キャンペーンや夜間パトロール、交通安全運動、青少年の健全育成のための取組などを行ってきました。

長年取り組んできて、〝顔の見えるつながり〟の大切さを感じています。例えば防犯の面で言えば、地域に暮らす人たちがみんな顔見知りなら、辺りに不審者がいてもすぐにわかりますからね。それに、日ごろからコミュニケーションを取っていれば、何かあった時に助け合うことができるので、安心して暮らすことができますし。

これからも人とのつながりや信頼関係を大切にしながら、みんなが安心して暮らせる〝地域にやさしいまち〟の実現へのお手伝いをしていきたいと思っています。

す 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる

平成24年の東京スカイツリー®開業に合わせ、すみだの魅力を発信する「産業観光プラザ すみだ まち処（どころ）」を開設しました。また、観光舟運に活用できる船着場を整備するなど、「国際観光都市すみだ」の魅力を高め、広くPRしています。

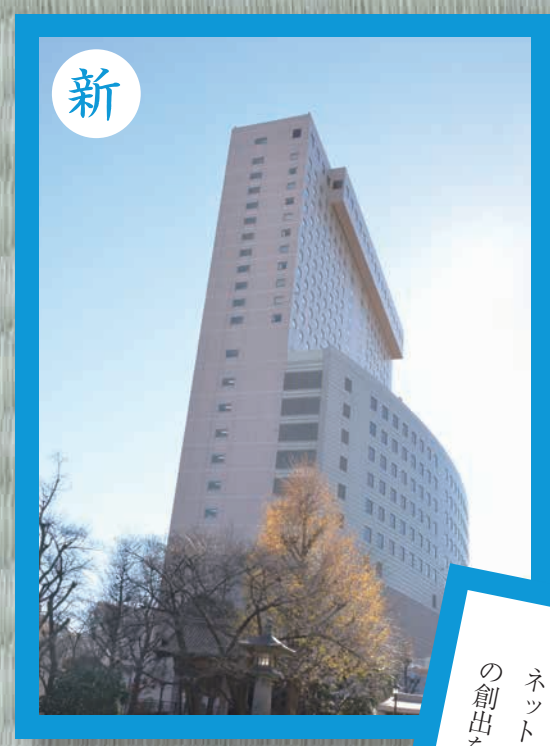
広告 ケーブルテレビもネットも電話もまとめてお得に。ご相談は地元のJ:COMすみだ・台東へ☎0120-999-000(9:00～21:00)

水と歴史のハーモニー 人が輝く いきいき すみだ 10年の歩み

今年は、平成18年～37年のまちづくりの目標を示した「墨田区基本構想」を策定してから10年目の年です。そこで、5つの基本目標ごとに、この間のすみだの歩みと出来事をいくつか振り返ってみましょう。

安 安心して暮らせる「すみだ」をつくる

すべての子育て家庭が必要な子育て支援サービスを利用できる体制づくりを進めています。平成19年には、在宅子育て家庭への支援の拠点として、子育て支援総合センターを開設しました。



新 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる

すみだでは、新規創業支援にも力を入れています。こうした取組をより強化するため、平成26年には「すみだ創業支援ネットワーク」を整備し、活力ある産業の創出を図っています。

地 地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる

再開発事業が行われている曳舟駅周辺地区では、平成19年完成の高層住宅棟を皮切りに都市型住居、商業施設や公共施設の整備が進み、新たな広域拠点へと大きく成長しています。

お客様に喜んでもらえるものづくりを続けていきたいですね

国際ファッションセンターの創業支援施設「KFCクリエイティブスタジオ」への入居をきっかけに、両国にオーガニックコットンの専門店を開店しました。

両国でオーガニックコットンの専門店を営む　水野信子さん

起業した当初は不安なことばかりでしたが、クリエイティブスタジオの同期のメンバーや区役所、商工会議所の担当者の方々からアドバイスをいただけたことがとても心強かったです。

お客様とコミュニケーションを取り、その方のライフスタイルを理解しながらものづくりをしています。今後も、安全・安心で着心地が良く、着回しもきくなど、お客様に喜んでもらえるものづくりを続けていきたいですね。

広告　畳を通して長～いお付き合い！あなたの町の（有）たたみ工房さいとう 緑四（三ツ目通り）☎3631-9591